

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL・Fax 049-289-2527
http://www.takei-makoto.org/
E-mail takei@sakado-gr.org

第9号

- ◆東日本大震災対応の反省と課題
- ◆火葬場の問題について 他
- ◆武井誠3年半の一般質問とその成果
- ◆「励ます会」に寄せられた要望
- ◆持続可能な社会を子どもたちへ

東日本大震災で被災されたみなさまに

心よりお見舞申しあげます 坂戸市議会議員 武井 誠

今こそ「命を大切に作るまちづくり」を！



6月議会で一般質問をする
武井誠（2011. 6. 8.）

市民のみなさま、お元気ですか。

未曾有の大震災。未だ収束する気配の見られない福島第一原発の事故。放射能の問題を含め、私たちはかつて体験したことのない世界に足を踏み入れてしまいました。

坂戸市の未来にも、この震災が大きく影響するであろうことは間違いありません。放射能汚染の問題は、これから相当長い間注視しなければなりませんし、市への今以上の交付金、補助金は望めないでしょう。

私たちが考え、行動しなければならないことは何か。坂戸市議会も、陳情・要望の議会ではなく、執行部と対等に政策論争し、市民に積極的に情報を公開していく議会にすることが必要です。

震災後、私は①安全・安心な街づくりの再点検②地域コミュニティの再生③「他力本願」でない自立した財政④情報公開と市民参画 を提案してきました。

今こそ、命を大切に作る街づくりを！

多くの方からご意見・ご要望をいただいております。寄せられた「小さな声」をもとに、全力で議会活動に取り組んでまいりました。早いもので来年4月は選挙です。さらにながらみます。変わらぬご支援を心よりお願いいたします。

ホームページを毎日更新しています。「武井誠」と入力し、**検索**をクリックしてください。ツイッター（makoto_takei）からの発信も始めました。

I 東日本大震災対応の反省と課題

1 震災直後からの対応について



写真は宮城県石巻市。市民ボランティアとして被災地で活動された方から提供

他議員の質問との重複を避けて、私は地域防災計画の見直しについて主に次の3点を質問しました。

- ①震度5強という災害対策本部設置基準を、柔軟に考える必要があるのではないか(今回は「5弱」のため設置せず)。
- ②つながらない電話、対応のたらい回し。窓口の一本化、臨時電話設置の遅れは厳しく反省すべきではないか。
- ③被災され避難されてきた人へのケアは十分だったか。また今後、市民、職員のボランティア派遣に積極的に取り組むべきではないか。

それぞれ検討、あるいは改善を図っていく旨の答弁がありました。

2 坂戸市の放射能汚染について

これも複数の議員が質問。市役所の屋上に固定されていた測定器をはずして、市内小中学校の放射線量を測定し、公表することが質問直前に決まったことは、私たちの質問通告が一つのきっかけになったのかもしれませんが。

「風評被害」を防ぐにはどうしたらよいか、という私の質問に対して、執行部は「正確な情報の把握と公開」と答弁。この基本を確認し、私は、プールの水の安全、核燃料の関越高速輸送の危険性、放射線被害を想定した防災訓練が実施されているかなどを質問しました。

心配だったのは、秋から小中学校のプールに貯められ、3月11日以降もそのままだった水をどうしたかということでしたが、残念ながら全部の学校で清掃が終了していました。もう少し早く気がついていれば・・・と悔やまれてなりません。

しかし、大切なのはこれからです。半減期の長いセシウムなどの被曝は「足し算」で考えなければなりません。そして、確かな安全基準は、あふれる情報の中から一人ひとりが判断するしかない。大変な時代を迎えてしまいましたが、子どもたちの未来のため、市として教育委員会として取り組まねばならないことを、これからも、厳しくチェックしていきます。

ツイッターから広がる **子どもを被曝から守る母の会**

私のツイート（とホームページ）をお読みいただいた2人のお母さんから、市内の放射線量を心配するメールをいただきました。一般質問の中で紹介させていただき、報告かたがた詳しくお話をお聞きしようとして議員控室にお招きしたところ6人の方が来室。その場で勉強会をしようということになり、翌週、開催したところ参加者30人。これもツイッターで情報をえられ、飯能からいらっしゃったお母さんも。その中の8人で、翌週早々、教育委員会との話し合いを行いました。進行係は私が務めました。

要望は①市内の空気、水、食べ物などの放射線量の迅速で継続的な測定と情報公開 ②測定結果から危険と判断した保護者と子どもたちの暮らし方に「選択」の自由を、という2点。

時間の関係で、結論には至りませんでしたが保護者皆さんの不安は、十分教育委員会に伝わったようでした。全県、全国にこういうネットワークが広がっています。お母さん方の行動力に脱帽。これからも、情報交換や学習会に取り組むことを約束しあいました。

Ⅱ 火葬場について静苑組合と協議開始

今回の震災による計画停電の影響で、一時、近隣市町が坂戸市の火葬を受け入れられないことを表明するという事態が生じました。

伊利市長の要請(お願い)、及び計画停電の終了でことなきをえましたが、火葬場確保が喫緊の課題であることが改めて明らかになりました。

右の年表をご覧ください。長年の懸案である火葬場の確保は、2003年11月の「当面は静観する」という静苑組合からの連絡以降、7年以上動きが止まったままでした。

この件について質問したところ

「静苑組合との交渉、意見交換について事務レベルで正式に協議の再開を依頼し、話し合いをスタートした」との答弁でした。静苑組合加入という方針をたて、その方向に一步前進したということかと重ねて質問したところ「協議再開をお願いし、これに対して了解いただいたと理解している」との答弁でした。

これまでの「市内に斎場を」あるいは「民間企業との連携」などを同時に検討しているようなニュアンスの答弁から、一步踏み出したという感触をえました。

費用負担の問題、地域住民の理解など、まだまだ多くのハードルが予想されますが、市の財政状況を勘案しても、これ以外の選択肢はないと、私も考えます。

01. 3. 広域静苑組合加入依頼
01. 5. 伊利市長就任
02. 2. 仲越生町長就任(組合管理者に)
02. 8. 仲組合管理者と伊利市長面談
03. 3. 3月議会で加入に伴う経費計上
03. 6. 基本構想策定に関する協定書
03. 7. 静苑組合から加入意向確認通知
03. 7. 回答文書提出
03. 11. 広域静苑組合より連絡

平成14年度の事業実施は難しいので協定は結ばない。15年度予算に坂戸市からの負担は計上しない。坂戸市の加入については、当面組合としては静観する。

04. 4. 管外者使用料引き上げ
管外者利用時間帯の制限
05. 8. 斎場に関する庁内研究会議設置
06. 6. 斎場整備調査研究業務委託
07. 3. 第5次総合振興計画

早期に整備することを基本に広域的な枠組みも視野に入れ検討。

07. 6. 斎場整備ビジョン策定委託

Ⅲ 合併浄化槽調査結果の活用について

昨年行われた調査結果の活用について質問しましたが、及び腰の答弁でした。縦割り行政の弊害を克服し、例えば道路側溝の整備など総合的に方針を立てることが必要ではないかと再質問し「普及のためには放流先の確保が必要なので、関連する部署との調整を図って市民の利用に供せるように努力していきたい」との答弁をえました。

4年間、議会改革推進委員会で議論をしてきました。

議会改革が進んでいます

これまでに

- ・ 予算、決算常任委員会の設置
- ・ 本会議の一問一答方式(6月議会から)などを実現。9月からは
- ・ 議会による市の事業評価(決算常任委員会で)
- ・ 自由な議員間討議(各常任委員会で)
- ・ 議会報告会 10月16日(日)10時 勝呂公民館が行われます。さらに
- ・ 常任委員会での所管事務調査実施
- ・ 本会議のインターネット動画配信
- ・ 議会基本条例制定(3月議会での制定を目指す)を議論しています。

無料法律相談会

専門の弁護士が法律相談。あわせて市民生活相談も行います。プライバシー厳守。お気軽にご利用ください。

日時 2011年7月30日(土)

13時～市民生活相談

15時～法律相談

場所 坂戸文化施設「オルモ」

※できるだけ予約をお願いします。

※次回は8月27日(土)。場所と時間は同じです。緊急の場合は弁護士紹介等相談に応じます。

連絡・お問い合わせは武井まで

ケイタイ 090-9854-5175

いのちと地球、持続可能な社会を子どもたちへ

太陽と風、大地、自然の恵みをエネルギーに
未来に生きる子どもたちのために、
私たちにいまできることを。

全国1千万人署名

原子力発電所の新規計画を中止し、浜岡をはじめとした既存の原子力発電所の計画的な廃炉を求めます。最も危険なプルトニウムを利用する、高速増殖炉「もんじゅ」と六ヶ所村など再処理工場の廃棄を求めます。省エネ・自然エネルギー政策への転換を求めます。

9.19全国アクション 東京では

明治公園5万人集会

(17、18日関連イベントを企画・募集)

今こそ自然エネルギーへの流れを確実なものに！

さようなら原発 1000万人アクション 脱原発・持続可能で平和な社会をめざして

1000万人アクション実行委員会

呼びかけ人 大江健三郎 内橋克人 鎌田 慧
坂本龍一 澤地久枝 瀬戸内寂聴
辻井 喬 落合恵子

連絡先 原水爆禁止日本国民会議 (原水禁)
Tel03-5289-8224 Fax03-5289-8223

被曝 66 年、平和の原点を見つめ、この地球から核と戦争をなくしましょう！

第19回

ヒロシマ市民の描いた

原爆絵画展

日時 8月9日(火) 10日(水)
8時30分～17時00分

場所 鶴ヶ島市役所1階ホール

入場無料

※チェルノブイリ原発事故、福島第一原発事故の写真・資料なども展示します。

絵画展坂戸・鶴ヶ島地区実行委員会
事務局 090-9854-5175 (武井)



社民党 脱原発 アクションプログラム

2020年までに
原発ゼロ
2050年には
自然エネルギー100%に

脱原発アクションプログラム



脱原発自然エネルギー推進
プロジェクトチーム作成
定価 200 円 ご連絡いただければ、
武井が直接お届けいたします。

第24回埼玉反核・平和の火リレー

語り継ごう、走り続けよう ヒロシマ・ナガサキの心を

広島平和公園に灯る「平和の火」を手に、7月25日(月)埼玉県庁前を出発し8月2日(火)まで、県内350キロを青年・女性の手から手へと走り継いでいながら、各市町村に平和行政推進の要請行動などを行います。

※鶴ヶ島市役所前 8月1日(月) 15時30分
坂戸市役所前、同日 16時05分の予定です。
※あなたも走りませんか。距離は約4.5キロ。
武井は、今年は、走るか、伴走車か思案中です。

事務局：埼玉県青年学生平和友好祭実行委員会
さいたま市浦和区高砂 3-37-5 社会文化会館1階
Tel 048-824-6400 Fax 048-824-6597